



令和元年第4回富谷市議会臨時会

市長挨拶

令和元年9月13日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



本日ここに、令和元年第 4 回富谷市議会臨時会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、議員の皆様方におかれましては、去る 8 月 25 日執行の市議会議員選挙において、市民の皆様への負託を受け、ご当選されましたことに、心よりお喜びを申し上げます。

今回の選挙は市制施行後の初めての市議会選挙で、議員定数も 18 人となり、議員お一人おひとりへの市民の皆様が寄せられる期待や関心は、これまで以上に増すものと受け止めております。この 4 年の任期の間、議員皆様のご活躍を改めて祈念申し上げます。

富谷市は、今年で市制施行 3 周年を迎えます。

先日、民間調査機関が発表した「魅力のある市区町村ランキング」と、大手不動産会社が発表した「街の住みこころ（自治体）ランキング」において、富谷市が県内 35 市町村の中で第 1 位に位置付けられるなど、高い評価を得ているところです。

しかしながら、少子高齢化の進展など、現在の地方自治体を取り巻く課題は、ますます複雑、多様化し、その状況は、本市においても同様であります。

そのため、議会の皆様とは、地方自治を担う両輪として、富谷市の未来を描きながら、「住みたくなるまち日本一」の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。